

人権週間

12月4日(月)～10日(日)

育てよう

一人ひとりの

人権意識



町民一人ひとりが、お互いにかけてがえのない存在であることを実感しなければなりません。「思いやりの心」、「かけがえのない命」を大切にすることが、今まさに求められています。一人で悩まず、町の人権擁護委員にご相談ください。

町の人権擁護委員さん

※敬称略

桜井 康行	大字金沢1261	☎62-0486
塩旗 国光	大字皆野1866-1	☎62-3779
金子理恵子	大字皆野915	☎62-4727
田島 伸一	大字三沢779	☎65-0021
久米雄志郎	大字国神576	☎62-4317

人権作文

「てん校してきて」

小学校3年生

ぼくは、四月から今の学校にてん校してきました。てん校する前に、これからかよう学校は、埼玉県で一番人数が少ない学校だと聞いて、すごくさびしい気持ちになりました。大すきな友だちとわかれるのもつらいし、新しい友だちがつかれるのかしんぱいでした。ぼくと同じ3年生は、たった一人の女の子だと聞きました。ぼくが、大すきな体育の時間は、どうにやるのかなと思いました。

始ぎよう式の日、体育かんで自こしようかいをしました。ぼくの前には友だちがすこししかいないのでびつくりしました。ぼくはドキドキしながら、自分の名前を言いました。教室は、三、四年生が同じクラスでした。六人の四年生が、にこにこしながらむかえてくれました。みんなやさしそうでした。ぼくは、教室の中でもドキドキしていました。

そんな時、四年生の男の子が「友だちになろうよ。」と、声をかけてくれました。ぼくは、心の中で(やったあ。)と、声をかけてくれました。自分からは、声をかけることができなかつたけど、やさしい言葉をかけてもらってぼくの心の中のドキドキが消えました。

さいしよは、三、四年生でいっしょにやるべんきようや、二人だけでやるそうじの時間などなれないことがいつぱいありました。でも、ぼくがこまっていたと、

「こうやるんだよ。」と、かならずだれかが声をかけてくれます。ぼくも、自分から話しかけることができるようになります。だから、てん校する前にしんぱいしていたことが、ぜんぶなくなりました。

ぼくは、今この学校にてん校してきて、毎日とても楽しいです。全校で食べる給食や、全校

ドッジボールなど、大きい学年の人が、小さい子のめんどうをみながらやるので、みんなやさしいなあと思います。

ぼくも、いろんな友だちにやさしくされたように、小さい子のめんどうを見ながらみんないっしょになかよくだすけあつていけるように、いろんな人に自分から声をかけていきたいと思っています。

人権尊重社会をめざす

県民運動強調週間

人権は、誰もが生まれながらにしてもっている基本的な権利です。

しかし、私たちのまわりでは、気がつかないうちに人間としての尊厳を傷つけ、人権を侵害していることが少なくありません。同和問題をはじめとしたあらゆる差別をなくすためには、お互いの人権を認め合い、尊重していくことが何より大切です。

12月4日から10日までは「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」です。

これを機会に、私たち一人ひとりが、自らの生活を見つめながら、現代社会の不合理や偏見を見抜き、あらゆる機会をとらえて人権の大切さを話し合い、差別のない明るい社会を築いていきたいと思います。

北朝鮮

人権侵害問題啓発週間

12月10日(日)～16日(土)

このたび、「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が国会で制定され、啓発週間が定められました。

この啓発週間に機に、国民的課題でもある拉致問題に対する関心と認識を深めるとともに、国民の思いを北朝鮮当局に伝え、一日も早く拉致問題を解決しましょう。

平成18年工業統計調査

12月31日(日)現在



製造業を営む事業所が対象となります

ご協力をお願いします